

(ヒメギフチョウ)

里山通信

『蒲沢(かばさわ)』


第18号

平成19年4月20日発行

発行責任者

里山ねっと「赤坂」

代表 和田 伸太郎

 桜も開花して野山はすっかり春の装い、4月14日(土)、恒例の「里山ハイキング」を行いました。昨年は1週間ほど山に入るのが早かったせいか、お目当てのカタクリの花を楽しむことができませんでしたが、今年は、雑木林の斜面一面に咲き乱れる見事なカタクリの群生を見ることができました。この里山には、これだけのカタクリの群落があり、また食草のウスバサイシンも自生しているので、きっと「春の女神」といわれるヒメギフチョウも生息しているのではないかと

思います(実際、昨年、和田さんと森さんがその幼虫の姿を確認しています)。今回のハイキングでは、アケビの可愛らしい新芽が目をひきました。秋の熟した実は、食用としてよく知られていますが、春の若芽もおひたしにすると、そのほろ苦さとシャキシャキの歯ざわりが食欲をそそり絶品だそうです。早速、何人かの方が新芽を集めて持ち帰り試してみましたが大変おいしかったそうです。参加者は、総勢26名、心配した前夜からの雨もあがり、一同元気に春の里山を満喫してきました。



(畑前草地で記念撮影)



(アケビの新芽)